ベビーサークルプラス

取扱説明書

お買上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき、安全上の注意事項をよくご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでもご参照できるように、大切に保管してください。

① 定義とシンボルマークについて

⚠警告 身体に関する危険
守らないと人身事故が発生したり、
創傷や火傷の可能性がある。

注 意 財物や商品本体に関する危険
守らないと財物や商品本体の損傷の
可能性がある。

目次

①定義とシンボルマークについて・・P1
②安全上の注意事項・・・・・・・・・P1
③梱包内容・・・・・・・・・・・・・P2
④各部の名称・・・・・・・・・・・・P2
⑤組み立て方法・・・・・・・・・・・P3
⑥お手入れ方法・・・・・・・・・・・P7
品質保証書・・・・・・・・・・・・・P8

② 安全上の注意事項

保護者の方へ　必ずお読みください

本商品の対象年齢は5ヵ月～24ヵ月です。

⚠警告 本商品は乳幼児用です。安全の為、必ず下記の事項を守ってください。

●組み立て、分解、布部分の取り付け、取り外しは近くにお子様がいない状態で必ず保護者が行ってください。
●組み立て、分解、布部分の取り付け、取り外しの際は、手や指をはさまないようご注意ください。
●水平、平坦で安全な場所で使用してください。ストーブなどの危険物がある場所などでは使用しないでください。
●階段の降り口、縁側など転倒、転落の恐れがある場所では使用しないでください。
●お子様を付き添いなしでサークル内に置き去りにしないでください。
●二人以上のお子様を同時にサークル内に入れないでください。
●お子様がサークル内にいる時に、他のお子様がサークル内のお子様にいたずらなどをしないようご注意ください。思わぬ事故の原因になります。
●お子様がよじ登って外に出られるようなものをサークル内に入れないでください。
●ジョイント部分やパイプなどに衣服のヒモなどが引っ掛かる状態が生じないようにご注意ください。
●支柱にはヒモやカバンなどを掛けないでください。窒息など思わぬ事故の原因になります。
●完全に組み立てた状態で使用してください。側面のネットが緩んだ状態では使用しないでください。
●横パイプに腰掛けたり、ぶら下ったり、ゆさぶったりしないでください。
●お子様が布部分をなめたり、しゃぶったりしないようご注意ください。
●出入り口ファスナーの開閉時には手や指などをはさまないよう、十分に注意してください。
開閉操作は必ず保護者が行ってください。
●お子様を出し入れする際以外は、出入り口ファスナーは必ず閉じた状態にしてください。
●四角形以外の形状に組み立てて使用しないでください。
●本体を2台連結させて使用しないでください。
●別売の拡張パネルを使用する場合は、1セット(2面)までとしてください。六角形、長方形以外の形状に組み立てて使用しないでください。転倒など思わぬ事故の原因になります。
●床用保護シートは必ず取り付けてご使用ください。シートを外した状態でご使用になりますと、内側からお子様がサークルを押した際に、サークルがお子様と一緒に移動してしまい、転倒など思わぬ事故の原因になります。

注 意

●ベッドとして使用しないでください。
●付属の床用保護シート以外のシート、ふとん、マット類は使用しないでください。
●定期的に「ゆるみ」や「ガタ」がないか点検してください。
●出入り口ファスナーの付近には開閉の妨げになるようなものを置かないでください。
●破損、故障したまま使用しないでください。
●完全に組み立てた状態で使用してください。側面のネットがゆるんだ状態では使用しないでください。

③ 梱包内容

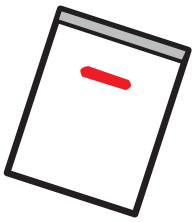
横パイプ(片側ジョイント付):4

ジョイント:4

横パイプ(両側ジョイント付):4

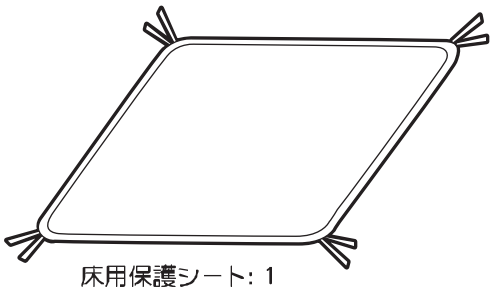
脚ゴムリング

脚ゴムリング

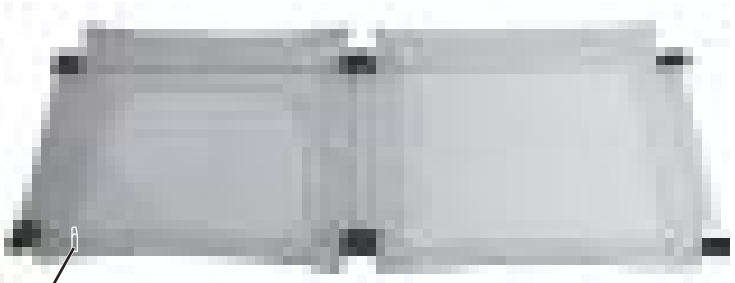


取扱説明書:1

クリップ:8



床用保護シート:1

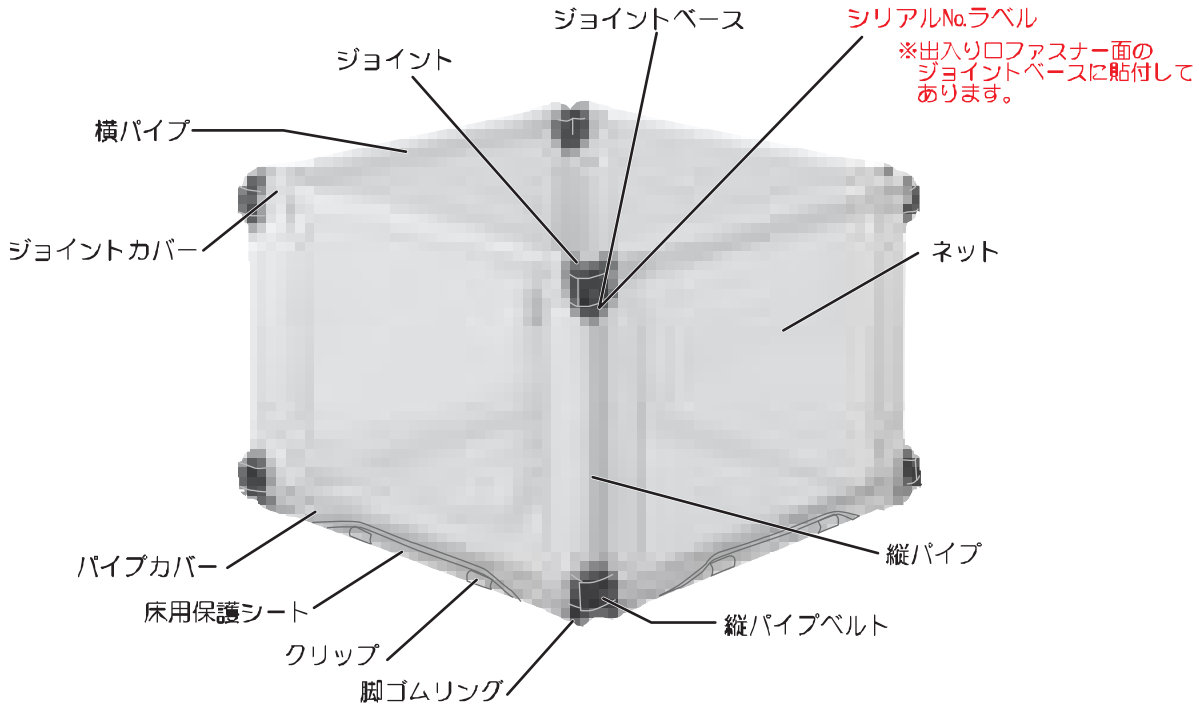


ファスナー

入り口付き本体カバーA
(縦パイプ、ジョイントベース付き):1

本体カバーB
(縦パイプ、ジョイントベース付き):1

④ 各部の名称

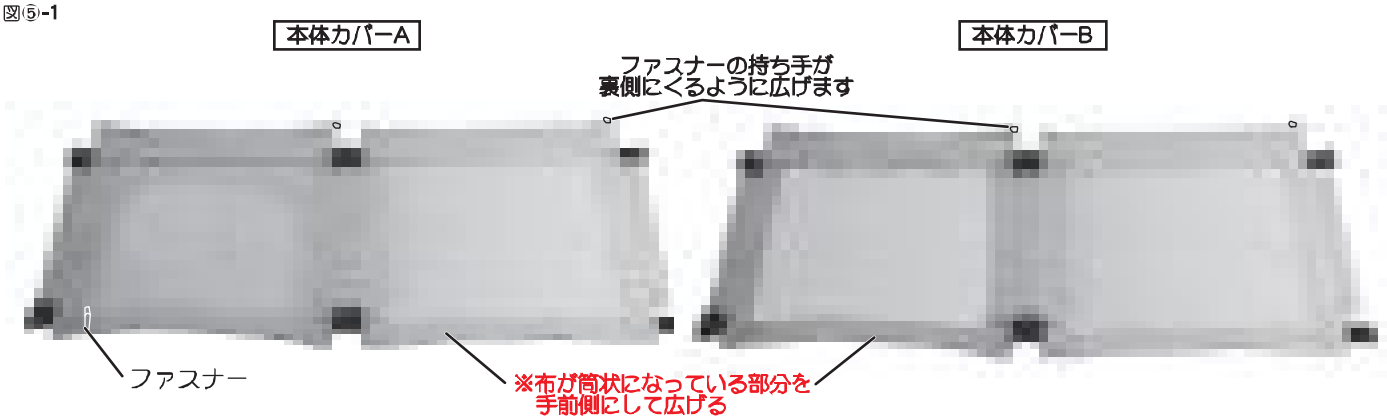


ジョイント：ABS 樹脂	ネット：ポリエステル 100%
ジョイントベース：ABS 樹脂	ジョイントカバー：ポリエステル 100%
横パイプ・縦パイプ：スチール	パイプカバー：ポリエステル 100%
脚ゴムリング：TPR（熱可塑性エラストマー）	縦パイプベルト：ポリエステル 100%
クリップ：ABS 樹脂	床用保護シート：ポリエステル 100%

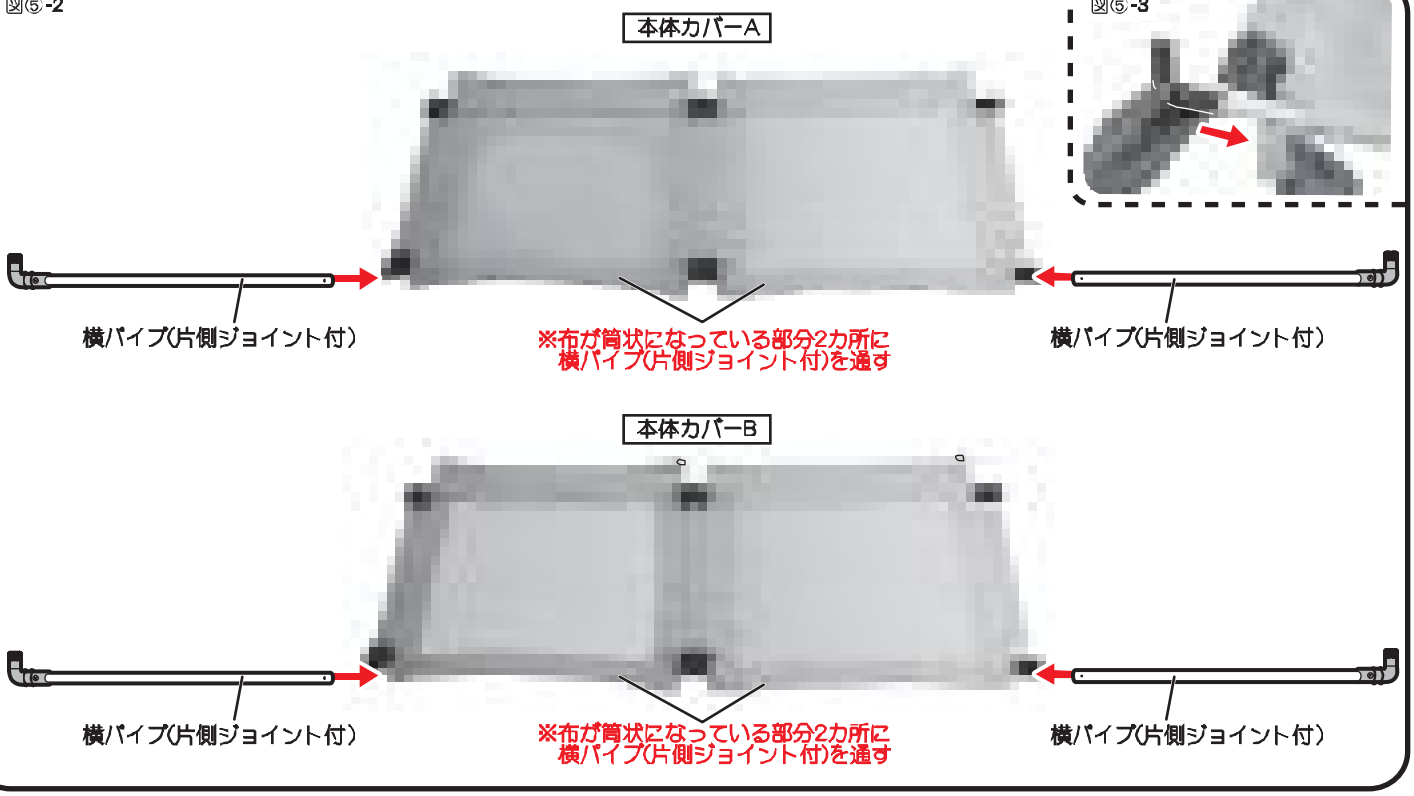
⑤組み立て方法

●本体カバーAとBに横パイプ(片側ジョイント付)を取り付ける

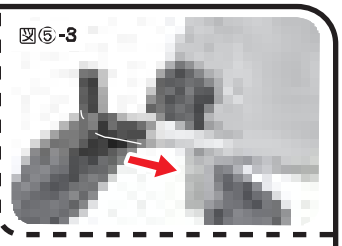
図⑤-1



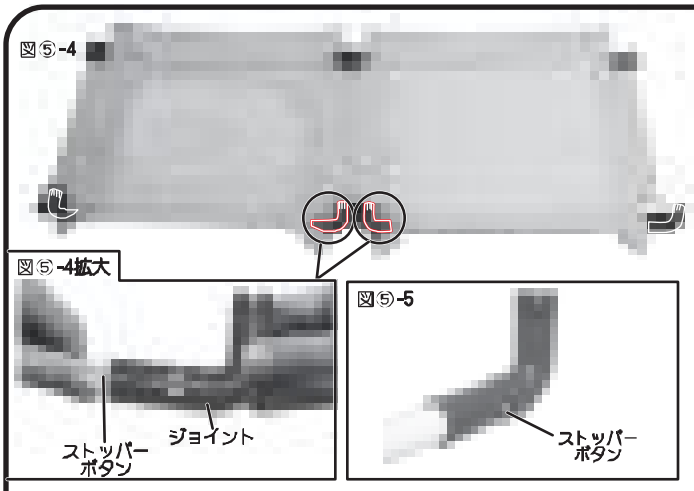
図⑤-2



図⑤-3

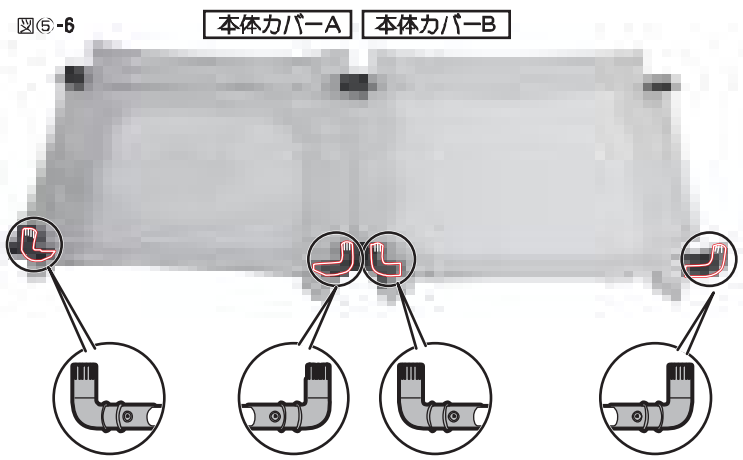


図⑤-4



・横パイプ(片側ジョイント付)の先端に、ジョイントを差し込みます。
ジョイントを差し込むときは、ストッパーボタンを押しながらジョイントの根元までしっかりと差し込みます。
ストッパーボタンの先端がジョイント穴から確実に出ている事を確認してください。

図⑤-6



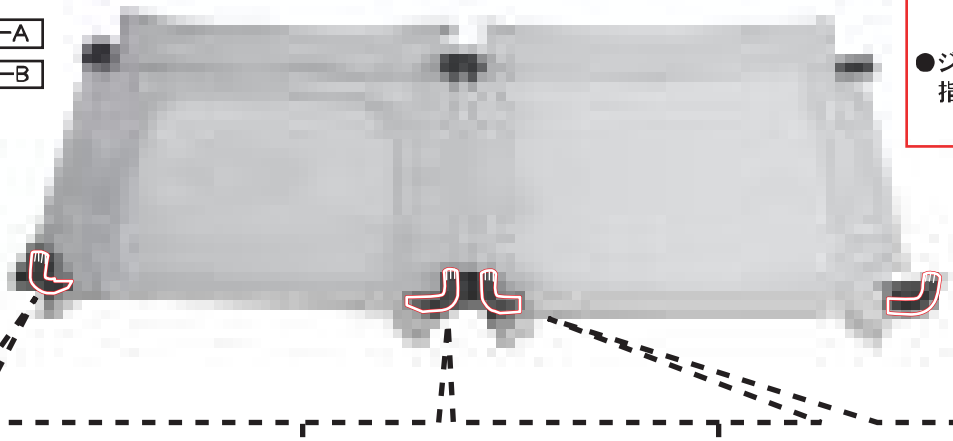
※横パイプの両端のジョイントの先を上方向にする
※この両端のジョイントの先が同じ方向を向いていないと、パネルが正しく組み立てられません。

●ジョイントとジョイントベースを組み立てる

図⑤-7

本体カバーA

本体カバーB

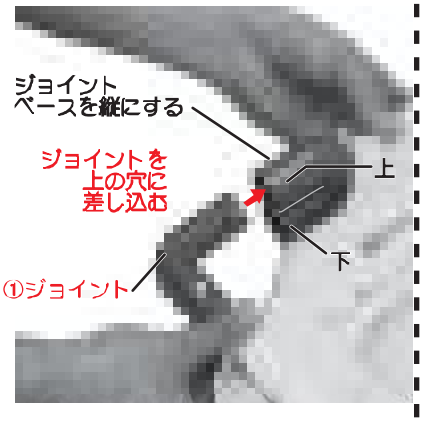


⚠警告

●ジョイントなどを組み立てるときは指をはさまないようご注意ください。

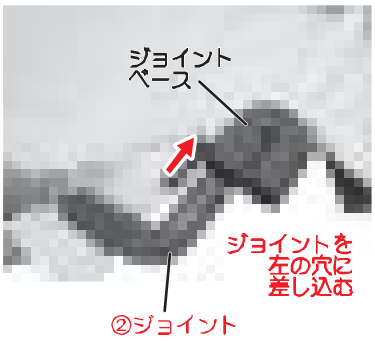
①ジョイント

図⑤-8



②ジョイント

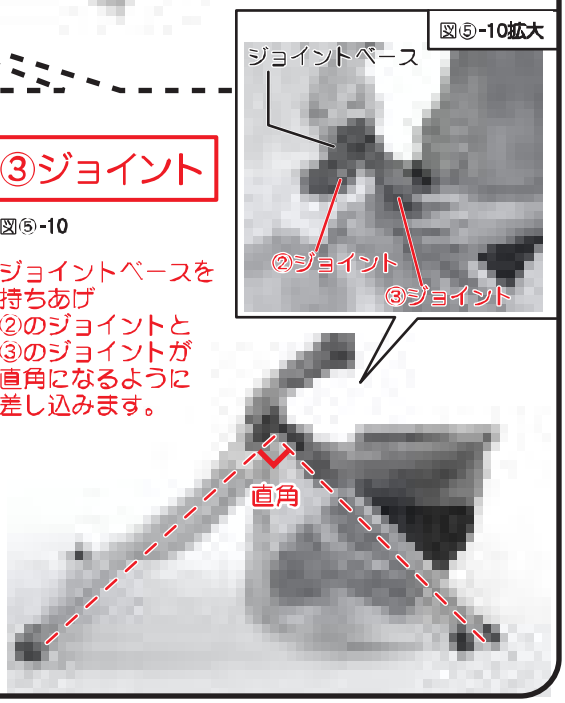
図⑤-9



③ジョイント

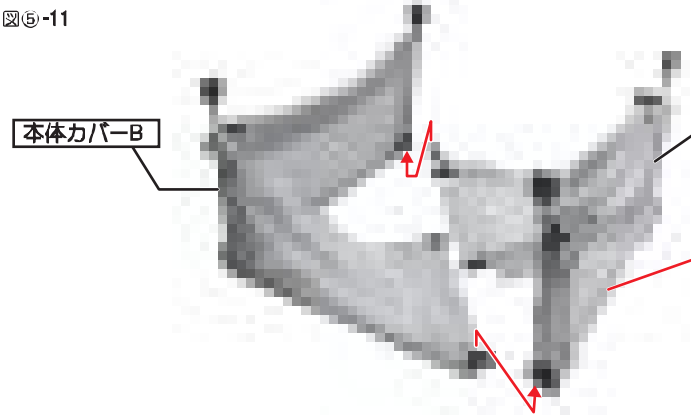
図⑤-10

ジョイントベースを
持ちあげ
②のジョイントと
③のジョイントが
直角になるように
差し込みます。



●本体カバーAと本体カバーBを連結する

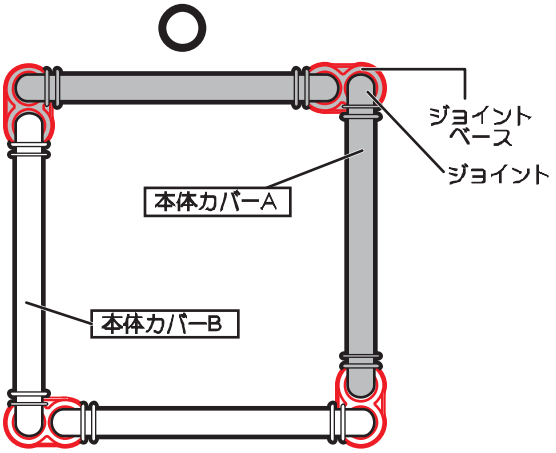
図⑤-11



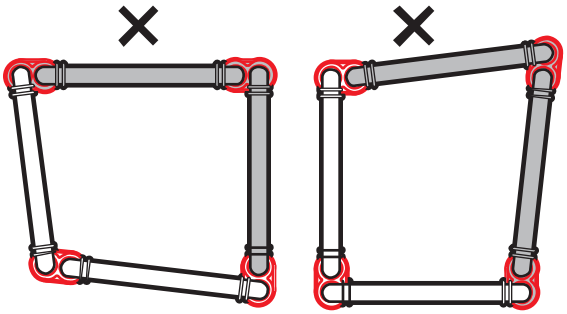
・本体カバーAと本体カバーBを左図のように組み合わせます。

横パイプが下になるように
立たせます。

図⑤-12

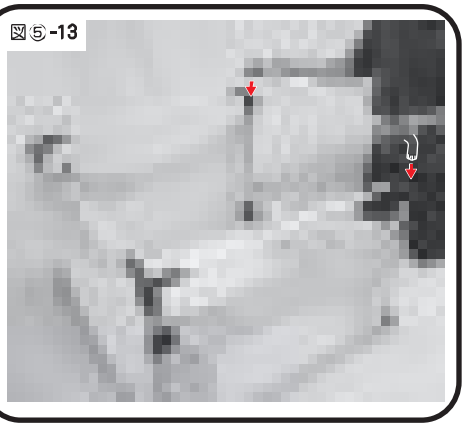


・本体カバーAと本体カバーBを組み立てたとき、ジョイントベースが左図のようになるように組み合わせてください。



●横パイプ(両側ジョイント付)の取り付け

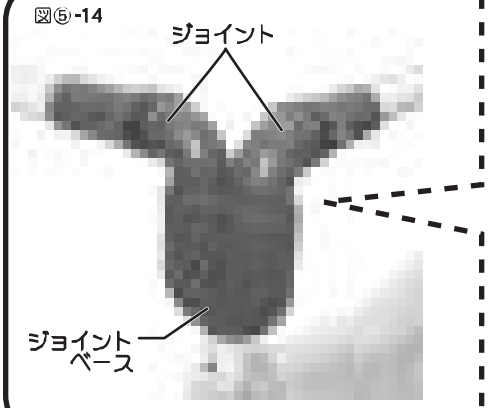
図⑤-13



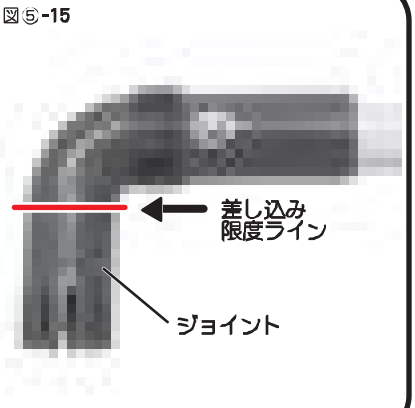
・横パイプ(両側ジョイント付)を接続したサークルの上に取り付けます(4カ所)。

●ジョイントの差し込み確認

図⑤-14



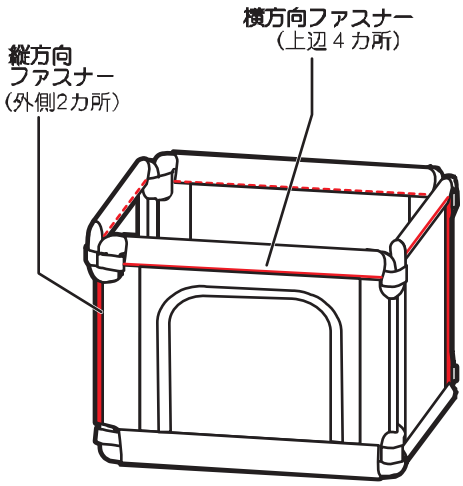
図⑤-15



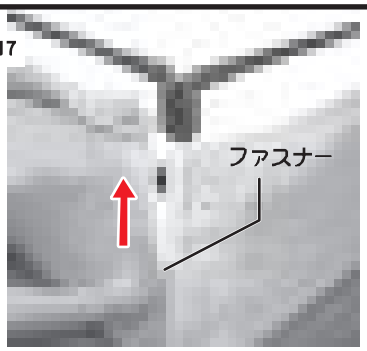
・本体上辺、下辺の合計16ヶ所のジョイントが、上図のようにジョイントの差し込み限度ラインまで差し込まれている事を確認してください。

●ファスナーを閉じる

図⑤-16

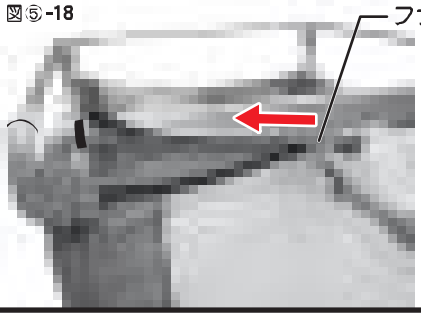


図⑤-17



・本体カバーAと本体カバーBの縦方向に付いているファスナーを合わせて閉じます(2カ所)。

図⑤-18



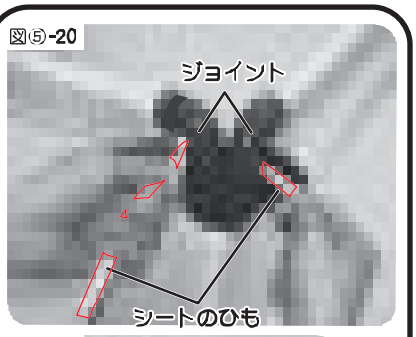
・本体上部の布を横パイプ(両側ジョイント付)に巻き付けます。本体の外側で横方向に付いているファスナーを留め、固定します(4カ所)。

●床用保護シートの取り付け

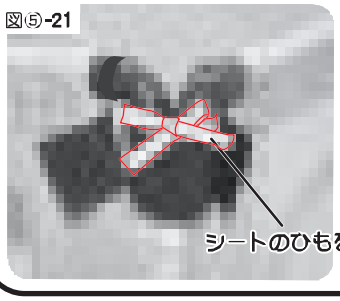
図⑤-19

・上図のように床用保護シートを広げます。
(床用保護シート=以下『シート』)

図⑤-20

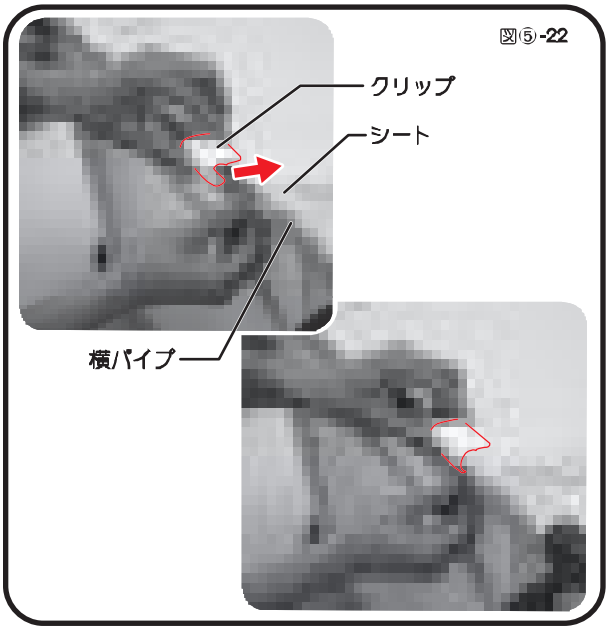


図⑤-21



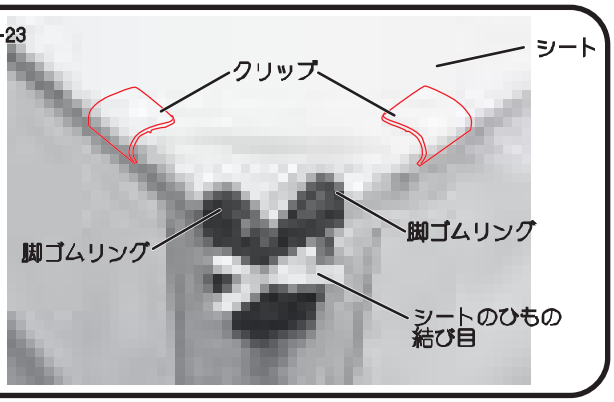
・シートの角に付いているひもを、本体角のジョイント2本に通し結びます。(全部で4カ所の角で同様にひもで結んでください。)

図⑤-22



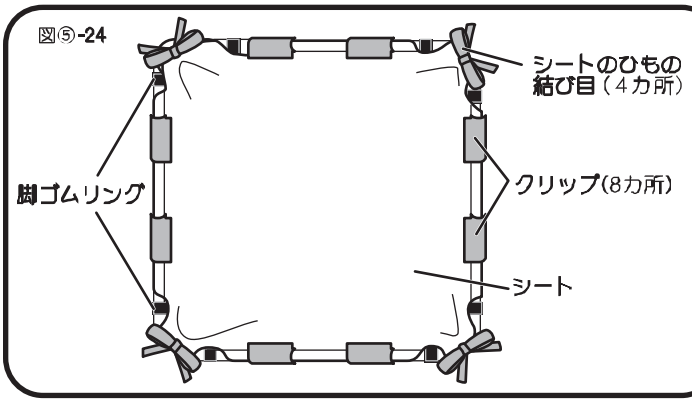
・シートをクリップで横パイプに留めます。このとき、横パイプ1辺につき2カ所をクリップで留めてください。(合計8カ所を同様にクリップで留めてください。)

図⑤-23



・シートと本体をひもで4カ所結んだあと、滑り止めの脚ゴムリングがシートに覆われていないことを確認してください。

図⑤-24



・シートと本体が、ひもで4カ所結ばれ、クリップで8カ所固定されていることを確認してください。

図⑤-25

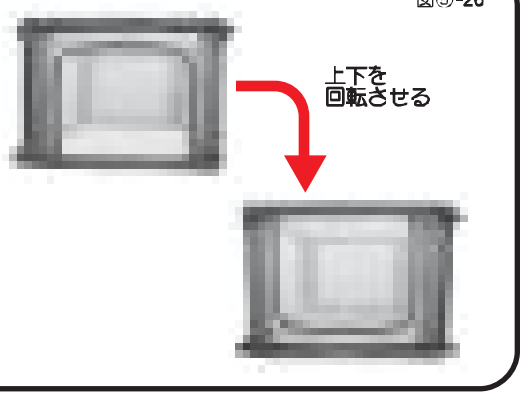
・クリップを取り付けたあと、左図のように本体とカバーの間にすき間がないようにしてください。
本体とカバーの間にすき間があると、足を引っかけるなどして思わぬケガの原因になりますので十分注意してください。

⚠警告

●シートは必ず取り付けてご使用ください。外した状態でご使用になりますと、内側からお子様がサークルを押した際に、サークルがお子様と一緒に移動してしまい思わぬ事故の原因になります。

●本体の上下回転

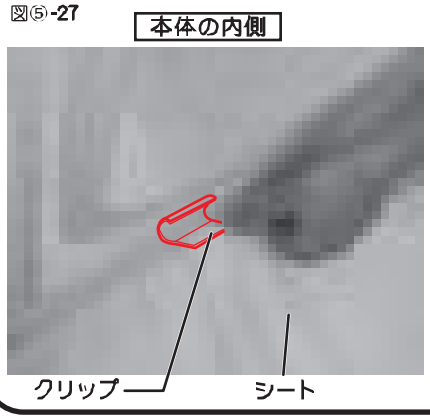
図⑤-26



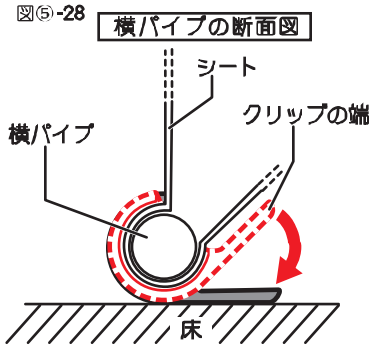
・本体を上下回転させ、ジョイント部に付いている脚ゴムリングが下になるようにします。

●クリップの端を押さえる

図⑤-27



図⑤-28

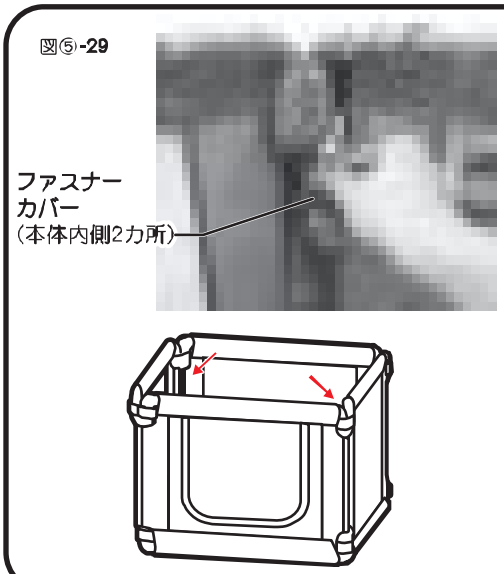


・横パイプに取り付けたクリップの端をシートの上から床に押しつけ、クリップの端が水平になるようにしてください。（全部で8カ所）

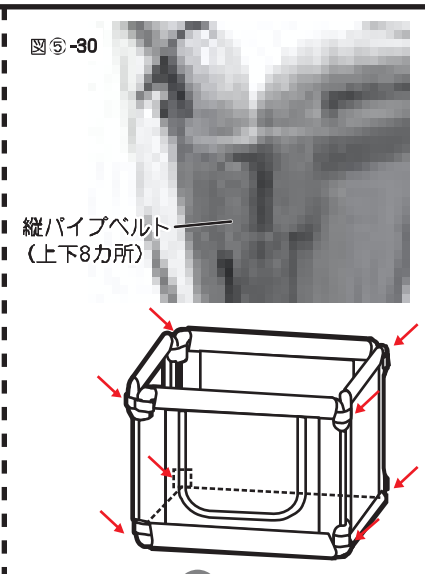
●ベルクロテープの取り付け

・図のようにカバー、ベルトをそれぞれベルクロテープで固定します。

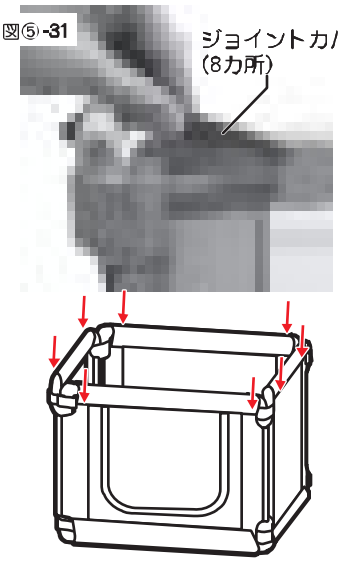
図⑤-29



図⑤-30



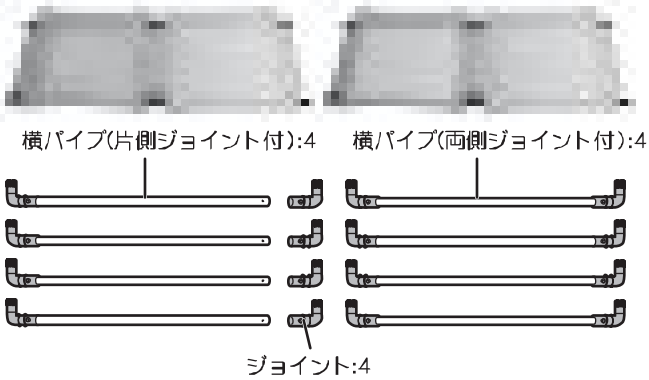
図⑤-31



⑥ お手入れ方法

●本体を分解する

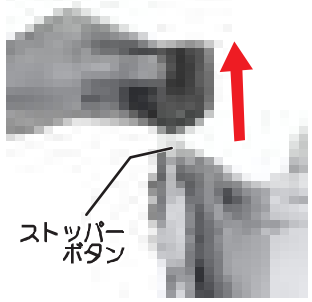
図⑥-1



・組立て方法(P3～)と逆の手順で本体カバーAとBを分解し、上下の横パイプ8本を全て取り外します。
このときストッパーボタンが固くて押しにくい場合はペンやプラスドライバーなどで押しながら、ジョイントを取り外してください。

●縦パイプを取り外す

図⑥-2



・縦パイプから飛び出しているストッパーボタンを押しながら、縦パイプの両端に付いているジョイントベースを引き抜いてください。

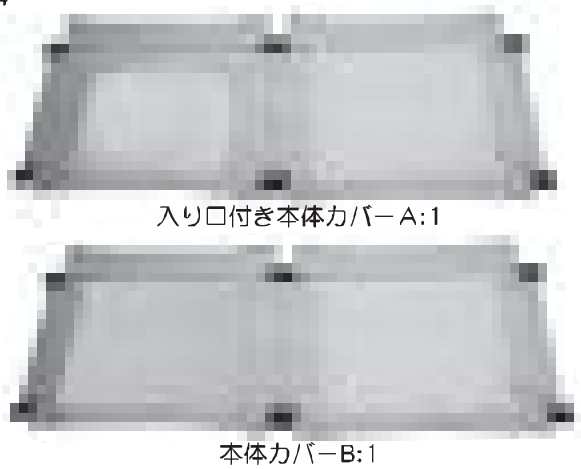
図⑥-3

・本体カバーAとBにセットされている縦パイプ4本を全て引き抜き、布だけにします。

●分解後パーツの確認 (下図のパーツが全てあることを確認してください)

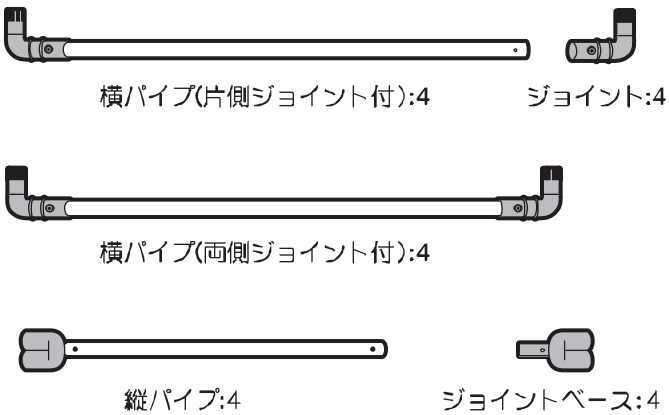
布部分(洗濯できます)

図⑥-4



パイプ・プラスチック部分

図⑤-5



⚠ 警告

●分解、組み立ては近くにお子様のいない状態で必ず保護者が行ってください。
●分解した部品は危険ですので、お子様の手の届かない場所に保管してください。思わぬケガをする場合があります。

●布部品のお手入れ

●型くずれを防ぐため、やさしく手洗いしてください。染料が色落ちする場合がありますので他のものと一緒に洗わないでください。また、長時間のつけ置きもしないでください。
●洗った後はしぼらないでください。タオルなどに押しつけて水気を取り除いてください。
●水気を取り除いた後、形を整えて日陰で平干しし、十分に乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。

●漂白剤や入浴剤などの入った水は使用しないでください。
●アイロンがけはしないでください。
●ドライクリーニングはしないでください。

注 意

●洗濯後、布部分は縮んで組み立てづらくなることがあります。その際は無理をせず、少しずつ布を引っぱりながら組み立ててください。

●パイプ類とプラスチック部品のお手入れ

・ぬるま湯を含ませ、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いたあと、洗剤成分が残らないように水拭きしてください。